

# 計量管理部会々報

## 《計量検定所だより》

### ■令和7年度人事異動のおしらせ

#### ◎退職者（3月31日付け）

- ・次長 山本 倫也 （再任用：総務部政策法務課）

#### ◎転出者（3月31日付け）

- ・総務企画課 副主査 石井 真奈美（君津健康福祉センター）
- ・総務企画課 計量員 高野 光（環境生活部大気保全課）
- ・総務企画課 計量員 河野 史弥（防災危機管理部産業保安課）
- ・検定・検査課 計量員 藤田 智紀（産業支援技術研究所）

#### ◎転入者（4月1日付け）

- ・次長 山口 秀之（病院局経営管理課）
- ・総務企画課 上席計量員 作原 直（防災危機管理部産業保安課）
- ・検定・検査課 計量員 山本 貴之（産業支援技術研究所）
- ・検定・検査課 計量員 大川 千彰（新採）

#### ◎内部異動（4月1日付け、（ ）は旧配置・職）

- ・総務企画課 計量員 関口 雅思（検定・検査課・計量員）
- ・総務企画課 計量員 鈴木 康生（検定・検査課・計量員）

## 《理事会だより》

### 1. 第61次全体会議 議案集の承認について

第61次全体会議議案集が令和7年4月23日付で配布されました。

議案集の各附議事項として、令和6年度事業報告、同年度収支決算報告及び監査報告、令和7年度事業計画（案）および同年度収支予算（案）、任期満了に伴う役員改選（案）について各議案が審議され、全45事業所の同意が得られ承認されました。

### 2. 計量管理発表会及び見学会の開催について

令和7年9月29日に令和7年度計量管理発表会及び見学会を予定しています。

- 発表事業場 （1）住友化学株式会社 千葉工場  
（2）出光興産株式会社 千葉事業所

発表 会場 住友化学株式会社 千葉工場  
見学会 和倉酒造 酒菜館

### 3. 研修見学会の開催について

今年度は2026年初旬に開催を計画中です。

## ＜令和7年度（一社）千葉県計量協会通常総会開催＞

令和7年6月18日（水）ホテルプラザ菜の花において、令和7年度「通常総会」を開催いたしました。議決権総数298名のうち202名（出席40名、委任状162名）が出席しました。総会の開催にあたり、瀬口力也会長及び渡辺敏之千葉県計量検定所長の挨拶後に事務局から総会成立の報告、議場選出、議事録署名人の承認を経て、下記審議に入りました。

### 記

- ・ 第一号議案：令和6年度 事業報告について  
事務局より事業報告があり、出席者の全員一致を以って異議なく承認された。
- ・ 第二号議案：令和6年度 収支決算報告及び監査報告について  
事務局より収支決算報告、監事により監査報告があり、出席者の全員一致を以って異議なく承認された。
- ・ 第三号議案：令和7年度 事業計画（案）及び同年度収支予算（案）について  
事務局より事業計画（案）及び同年度収支予算（案）の説明があり、出席者の全員一致を以って異議なく承認された。
- ・ 第四号議案：任期满了に伴う役員改選（案）について  
事務局より、理事会で承認された理事候補が紹介され、出席者の全員一致を以って異議なく承認された。



## 『会長挨拶』 瀬口 力也 会長

本日の定時総会にあたり、協会役員ならびに会員の皆様におかれましては、ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

6月に入り、気温や湿度も高まってまいりました。体調管理が難しい時期ではありますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

まず初めに、昨年度の10月、当協会が開催県を務めました「関東甲信越計量大会 千葉大会」につきまして、改めて御礼を申し上げます。

成田市にて開催された本大会には、約170名の皆様にご参加いただき、運営も極めて円滑に、大変な盛会のうちに終了することができました。

記念講演では「伊能忠敬の測量」をテーマに、計量の原点を見つめ直す有意義な時間を皆様と共有することができたと感じております。

大会後には、各都県協会の皆様から、「大変よい大会だった」「懇親会の余興にも千葉ならではの工夫を感じた」など数多くの賞賛をいただき、また、「千葉の後だとプレッシャーがかかる」とまで、ありがたいお言葉もいただきました。

これもひとえに、各部会の皆様、また会員企業の皆様のご支援の賜物です。重ねて心より御礼申し上げます。

続いて、今年度における業界動向の話題を一つ共有いたします。

令和6年4月に開催された経済産業省「計量行政審議会 基本部会」において、自動はかりに関する制度見直しが議題となりました。

なかでも注目すべきは、これまで検定対象として位置づけられていた自動はかり4器種のうち

「充填用自動はかり」「ホッパースケール」「コンベヤスケール」の3器種について、「検定対象から除外した方が望ましい」旨の考え方が審議会に上程されたことです。

検定から除外する理由としては、「一品一様の製品が多く、型式承認に馴染まない」「検定作業時に危険が伴うことが想定される」「そもそも取引・証明用途に使用されることが少ない」などが挙げられております。

まだ公式に決定したわけではありませんが、これまでの慣例を見ておりますと、おそらく除外する方向で議論が進むものと想定されます。

自動はかりの検定については、ここ数年来業界内の主要なトピックでありましたが、結局検定対象となるのは「自動捕捉式はかり」のみとなる公算が大きく、業界に与えるインパクトとしては、当初の想定よりも小さくなったと感じております。

いずれにしましても、協会としては、制度の進展を注視しながら、皆さまへの情報共有を進めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、本日の総会をもって、当協会の事務局を長年にわたり支えてこられた米谷さん、鈴木さんのお二人が、ご退任される運びとなりました。

総会に事務局として関わっていただくのは、今回が最後となります。

お二人には、日常の運営から大会準備・進行に至るまで、誠実かつ着実なお仕事で協会活動を支えていただきました。

昨年の千葉大会の成功が、花道になります。そのご尽力に対し、心より感謝申し上げます。本日の懇親会の場において、ぜひ皆様からもお二人にねぎらいと感謝の言葉をおかけいただければ幸いです。結びに、各部会ならびにご参加の皆様のご健勝とご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

## 『来賓祝辞』 千葉県計量検定所所長 渡辺 敏之 様

ただいまご紹介いただきました、千葉県計量検定所の渡辺でございます。

本日は、一般社団法人千葉県計量協会、令和7年度通常総会が盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

また、瀬口会長様をはじめ会員の皆様には計量行政の推進に、多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、これまで長年にわたり計量思想の普及啓発、計量技術の向上を図るなど、



本県の適正な計量の実施に大きく貢献されましたことに、心から感謝を申し上げます。  
 また、先ほど会長表彰を受けられた皆様、誠におめでとうございます。  
 皆様のご功績に深く敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。  
 引き続き、計量業界の発展に、御尽力くださるようお願い申し上げます。  
 皆様ご承知のとおり、計量制度は、貨幣制度と並び社会の様々な分野で利用される基盤的制度であり、社会と経済の広範にわたり重要な役割を果たしています。  
 県といたしましても、今後とも貴協会と連携を図り、適正な計量の実施を推進してまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に県の方でございますが、県では県民の皆様の利便性向上や行政事務の簡素化・効率化を図るため、行政手続のオンライン化を進めています。計量検定所におきましても各種届出を順次オンライン化するとともに、手数料の納付につきましても一部で電子決済が可能となりました。会員の皆様におかれましては、有効に御活用いただければ幸いです。

結びに、一般社団法人千葉県計量協会の益々のご発展と、会員事業者のご繁栄、本日ご出席の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。  
 本日は、誠におめでとうございます。



## 令和7年度表彰委員会審査報告

### (1) 計量管理優良事業所・計量管理功労者

#### ① 計量管理優良事業場

令和6年12月に実施した計量管理実施状況調査書を参考に審査を行った結果、下記通りに決定しました。

- ・出光興産株式会社 千葉事業所
- ・住友化学株式会社 千葉工場

#### ② 計量管理功労者

- ・小西 啓 住友化学株式会社 千葉工場

### (2) 『計量管理強調月間』 ポスター・標語入選者

#### ① ポスター部

- |     |   |       |               |            |
|-----|---|-------|---------------|------------|
| 特賞  | ： | 古谷 俊樹 | JFEスチール(株)    | 東日本製鉄所千葉地区 |
| 優秀賞 | ： | 大垣 隆  | JNC石油化学(株)    | 市原製造所      |
|     |   | 谷苗 恵介 | JFEスチール(株)    | 東日本製鉄所千葉地区 |
|     |   | 増田 重則 | (株)ENEOSマテリアル | 千葉工場       |



特賞：古谷 俊樹



優秀賞：大垣 隆



優秀賞：谷苗 恵介



優秀賞：増田 重則



## ② 標語の部

## 特 賞

- ・ 正しく計って 確かな品質 信頼届ける 計量管理  
\*木村 佳菜 古河電気工業（株） 千葉事業所
- ・ 正しい知識 確かな計量 築いていこう大きな信頼  
\*前田 ひとみ 古河電気工業（株） 千葉事業所
- ・ その一目盛りに想いを込めて 正しい知識と確かな計量  
\*長谷川 竜太 古河電気工業（株） 千葉事業所
- ・ 正しい計量 確かな品質 未来へ繋ぐ計量管理  
\*根本 宏樹 （株）ENEOSマテリアル 千葉工場

## 優秀賞

- ・ 一人ひとりがプロ意識 確かな計量 高まる信頼  
\*安居 太一 JFE スチール（株） 東日本製鉄所千葉地区
- ・ みんなが見つめる その値 確かな計量 築く信頼  
\*中川 則一 住友化学（株） 千葉工場
- ・ 正しい計量 高まる信用 計量管理で得る信頼  
\*立川 靖大 住友化学（株） 千葉工場
- ・ 正しい手順で 正しい計量 続けて築く 確かな信頼  
\*山口 雅博 住友化学（株） 千葉工場
- ・ 基準に忠実 確かな計量 信頼できる計量管理  
\*縄田 弘 出光興産（株） 千葉事業所
- ・ ひとつひとつを 正しくはかり 築いてゆこう 良き縁(エニシ)  
\*河登 志織 JNC 石油化学（株）市原製造所
- ・ 正しい手順で正しく計り未来を築こう計量管理  
\*仲間 勝也 大阪国際石油精製（株） 千葉製油所
- ・ 正しい手順で品質管理 未来へつなごう計量管理  
\*久保田 洋介 古河電気工業（株） 千葉事業所
- ・ 妥協を許さず正確計量 積み上げ築く信頼の礎  
\*斉藤 史哉 J F E スチール（株） 東日本製鉄所 千葉地区
- ・ 小さな目盛りに大きな信頼、しっかり測って確かな信頼  
\*甲斐 竜也 J F E スチール（株） 東日本製鉄所 千葉地区



## 計量管理優良事業場表彰を受賞して

出光興産株式会社 千葉事業所

この度、千葉県計量管理協議会 令和7年度通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。

これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量管理協議会会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当事業所の計量管理の概要について紹介させていただきます。

### 1. 当事業所の概要

製油所は1963年（昭和38年）に操業を開始。当社の基幹事業所として、最先端の装置やシステムを導入し、首都圏を中心に旺盛な需要に対応しています。

石油化学工場は1975年（昭和50年）に操業を開始。エチレンをはじめ、ポリプロピレンなどの樹脂を生産しています。

2017年には製油所と石油化学工場が一体化され、千葉事業所として発足し、製油所と石油化学工場はパイプラインで有機的に結ばれ、設備・施設の共同活用、留分・用役の最適活用を推進して効率的な経営に取り組んでいます。

### 2. 計量管理の概要

計量器の機種別台数（概数）を以下に示します。

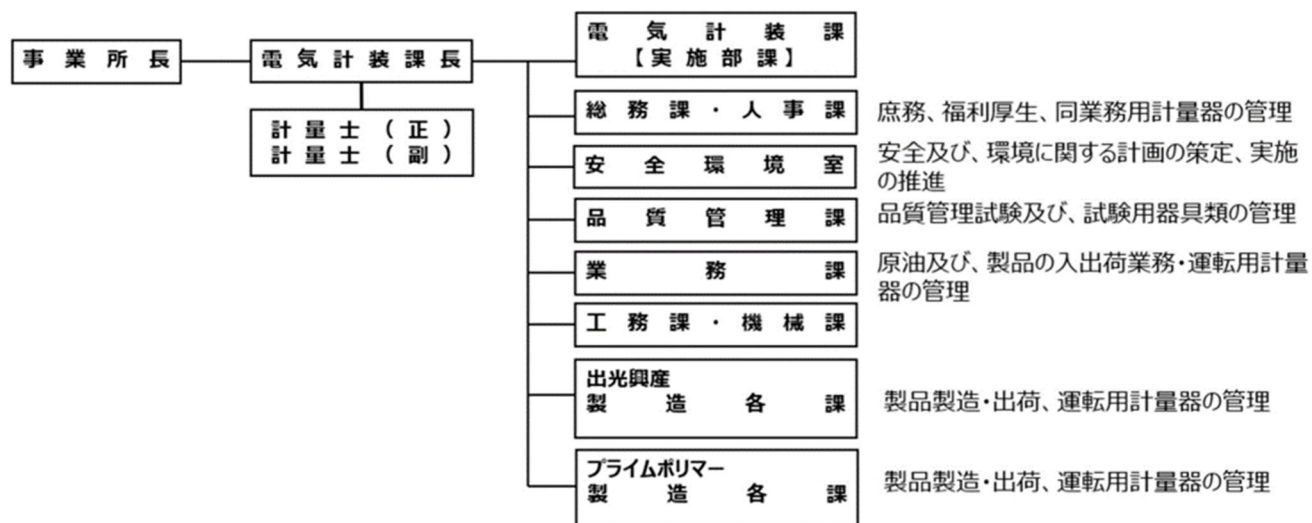
#### （1）一般計量（測）器

|      |          |
|------|----------|
| ・長さ計 | 5台       |
| ・質量計 | 200台     |
| ・温度計 | 13, 200台 |
| ・圧力計 | 21, 000台 |
| ・体積計 | 600台     |
| ・流量計 | 5, 100台  |
| ・液面計 | 6, 800台  |
| ・その他 | 1, 200台  |

#### （2）分析計（環境用）

|        |     |
|--------|-----|
| ・騒音計   | 4台  |
| ・p h計  | 8台  |
| ・大気濃度計 | 39台 |

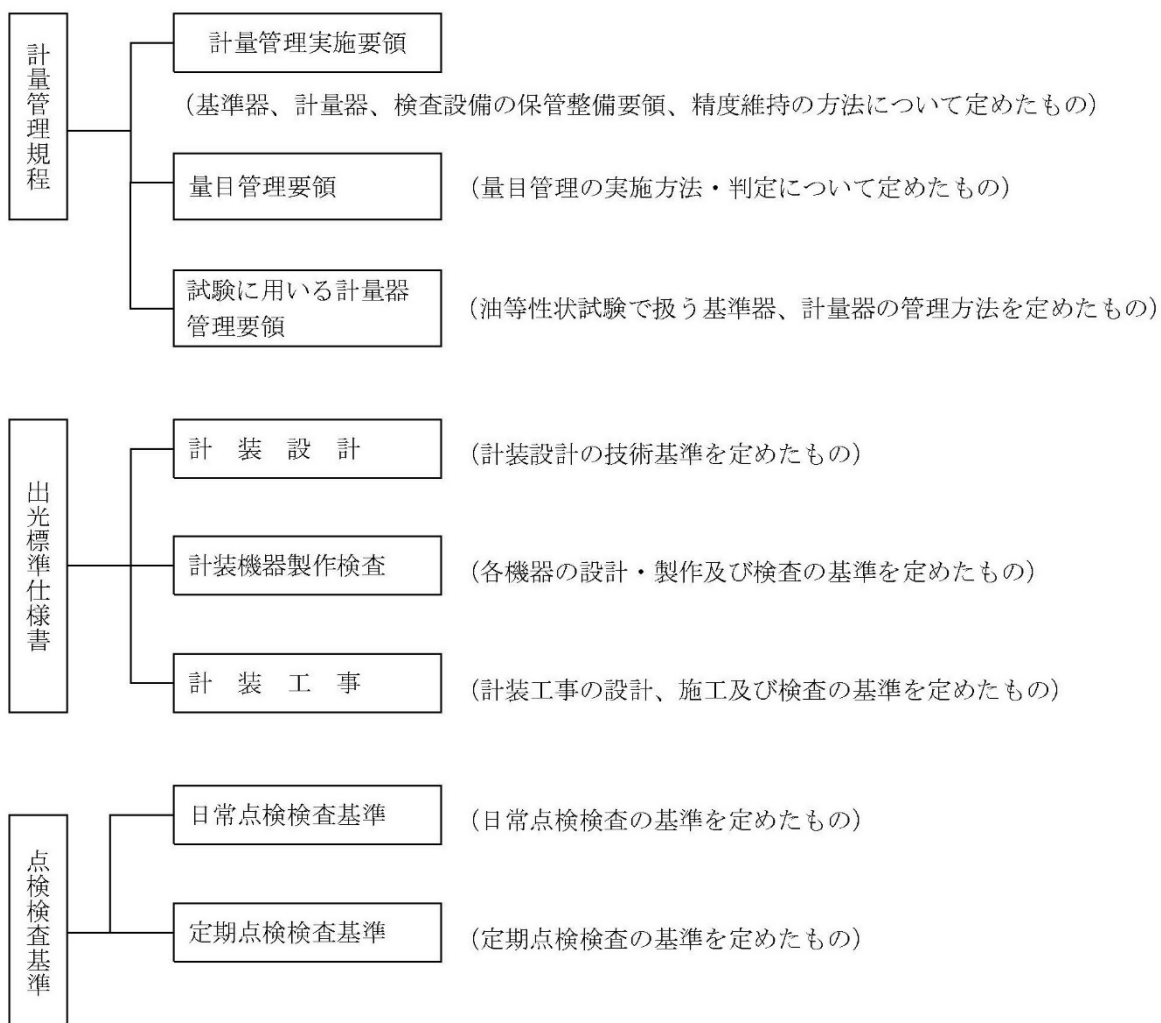
### 3. 計量管理実施の組織



各課・室には「適正計量管理主任者」を配置し情報共有する

2025年7月現在

### 4. 計量管理規程





## 5. 計量管理の検査設備

### (1) 基準器（計量法の基準器検査規則に規定された種類）

1 級基準分銅、3 級基準分銅

### (2) 標準器

標準オイルメータ、二級実用標準分銅、巻き尺、重錘型圧力計、マノメーター、ガラス製温度計、標準抵抗器、1 級分銅、3 級分銅、0 級ブロックゲージ、鋼製巻尺

### (3) 検査設備

容積式流量計、恒温槽

## 6. 計量器及び計装設備の管理状況

### (1) 受入検査

出光標準仕様書又は個別仕様書に基づき外観・寸法・性能・耐圧及び気密検査を実施しております。計装機器の購入も外部委託した場合は、受入検査も委託された協力会社にて実施します。検査の実施時点はメーカー製作時又は使用開始時です。

### (2) 定期検査

点検検査基準に基づき外観・寸法・機能・性能及び耐圧・気密検査等を実施しています。（協力会社が実施するが、出光係員が指示、立会いを行う）検査頻度は法定によるほか計量器の重要性・使用方法等によって定めています。

### (3) 臨時検査

計量器使用課（設備課）からの請求があった時に実施しています。（協力会社が実施するが、出光係員が指示、立会いを行う）

### (4) その他

上記検査結果は検査成績書・定期検査報告書として保管すると共にシステムに経歴として登録し、保守点検等に活用しています。計器の仕様等の台帳は全てシステムで管理しております。

### (ア) 日常点検検査

定期点検並びに日常点検検査基準に基づき実施しています。  
点検により不具合が発見されると補修依頼を発行し、保全実施部門にて補修を計画し、補修は該当計器の経歴・使用条件等を事前に調査し、点検・補修及び検査を行っています。（協力会社が実施するが、出光係員が指示、随時立会いを行っています）

### (イ) 定修時の点検検査

点検検査基準に基づき装置の休転時（SDM）に実施しています。

### (ウ) 定修時以外の定期検査

点検検査基準に基づき装置を休転させずに実施しています。（例えば法対象圧力計、取引証明用の秤、流量計、プロセス分析計等の検査）

## 7. 量目及び品質の検査

| 内 容<br>区 分 | 項 目    | 規 程・基準類 |   | 検査の対象物                     | 検査の実施状況                                                                 |
|------------|--------|---------|---|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
|            |        | 有       | 無 |                            |                                                                         |
| 原 料        | 量<br>目 | ○       |   | 原油<br>石油製品                 | 原料である原油、原油製品は油量管理要領を定め、原油受入船、ロット毎に検査を実施しております。                          |
|            |        |         |   | エチレン<br>触媒<br>添加剤<br>ナフサ等  | 原材料の受入れに際しては、流量計（積算体積計、質量計等）を設置し量目の確認をしています。流量計は定められた周期により器差試験を実施しています。 |
|            | 品<br>質 | ○       |   | 原油<br>石油製品                 | 受入品質基準を定め、品質検査を行なっています。<br>合否の判定は、原油は輸入していることから輸入規格により、行なっています。         |
|            |        |         |   | エチレン<br>触媒<br>添加剤<br>ナフサ等  | 受入れ品の品質基準を定め品質検査を実施。納品元の成績書を活用すると共に、バックチェックでサンプルを採取し品質検査を実施しています。       |
|            | 量<br>目 | ○       |   | 石油製品                       | 石油製品の量については、量目管理要領を定め、ロット毎に検査を実施しております。                                 |
|            |        |         |   | エチレン<br>パラキシレン<br>ポリプロピレン等 | 原料と同様に実施しています。<br>正味量表記の品については抜取検査により計量器の稼働状況を把握するようにしています。             |
| 製 品        | 品<br>質 | ○       |   | 石油製品                       | 製造工程品質管理基準を定め、品質検査を行なっています。<br>合否の判定は、石油製品製造規格により行っています。                |
|            |        |         |   | エチレン<br>パラキシレン<br>ポリプロピレン等 | 製品のロット毎に品質検査を実施することを原則とし、品質異常がない製品の製造を実施しています。                          |

## 8. 計量管理に関する改善活動

- (1) 業務改善活動や定期規程類見直し活動を通じて点検作業等の改善を図っております。
- (2) ISOの認証（品質，環境）取得し、定期的に内部診断・外部診断を行い、日々品質管理、環境管理の確保・向上に努めております。
- (3) 各職場で中期経営計画を定め、具体的な改善、品質・安全を向上させる年間計画を立案し、グループ単位で行動・進捗管理をしています。

## 9. ISO関連取得状況

|           |     |       |    |        |         |
|-----------|-----|-------|----|--------|---------|
| ・ISO9001  | 製油所 | 2002年 | 取得 | 石油化学工場 | 1992年取得 |
| ・ISO14001 | 製油所 | 1997年 | 取得 | 石油化学工場 | 1996年取得 |

## 10. 教育・訓練

### ・一般従業員

- ① 技術レベル別にOJTを主体として自己開発の課題に組み入れて社内教育を実施、製造技術部安全・技術研修センターにおいてカットモデルにより基礎的な技術から実践的な技術の体験学習を含めた教育を実施
- ② 社外教育では学会、メーカーのセミナー等への参加

### ・計量管理要員

- ① 技術レベル別にOJTを主体として自己開発の課題に組み入れて社内教育を実施、製造技術部安全・技術研修センターにおいてカットモデルにより基礎的な技術から実践的な技術の体験学習を含めた教育を実施、計量管理委員会による勉強会
- ② 社外教育では計量管理協議会主催の講習会、学会、メーカーのセミナー等への参加

### ・協力事業場

協力会社からの納入製品の不良防止の観点から毎年取り組みの確認、指導を行っております。又、標準器等の不良による校正、誤差の発生防止のため、協力会社に対し管理状況の確認を行っております。

以上、当事業場における計量管理の概要を紹介させて頂きました。今後も今回の受賞を励みに更なる計量管理活動の継続的改善に繋げていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

ありがとうございました。

## 計量管理優良事業場表彰を受賞して

住友化学株式会社 千葉工場

この度、千葉県計量協会令和7年度通常総会におきまして、当工場が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協会会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当工場の計量管理の概要について紹介させていただきます。

### 1. 当工場の概要

住友化学千葉工場は1967年に大型石油化学工場として設立され、エチレンプラントの操業を開始しました。2015年には、そのエチレンプラントを停止するなど事業の再構築を進め、現在は国内最新・最大の京葉エチレン(株)からエチレン等の基礎原料の供給を受け、ポリエチレン、ポリプロピレンなどの合成樹脂、プロピレンオキシドなどの有機工業薬品を製造しています。その他、レゾルシンなどのファインケミカル、ポリエーテルサルフォンなどのスーパーエンジニアリングプラスチックに至る広範囲な化学製品も生産しています。

また、現在、千葉工場は、これまで培ってきた技術や知見に加え、カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷低減や資源循環のための技術開発を推進しています。プロセスの合理化、省エネルギー化など、常に最適な工場運営を目指すとともに、ますます多様化、高度化する時代のニーズに対応するため、製品の高機能化、高付加価値化に取り組んでいます。



#### ・主な製品

アセトアルデヒド/プロピレンオキシド/イソブチレン/ノルマルブチレン/低密度ポリエチレン/  
ポリプロピレン/エチレン酢ビ共重合樹脂/熱可塑性エラストマー/スチレン・ブタジエンゴム/  
レゾルシン/スーパーエンジニアリングプラスチック



## 2. 計量管理の概要

当工場は平成元年8月より適正管理事業場に指定されております。

計量器の機種別台数を以下に示します。

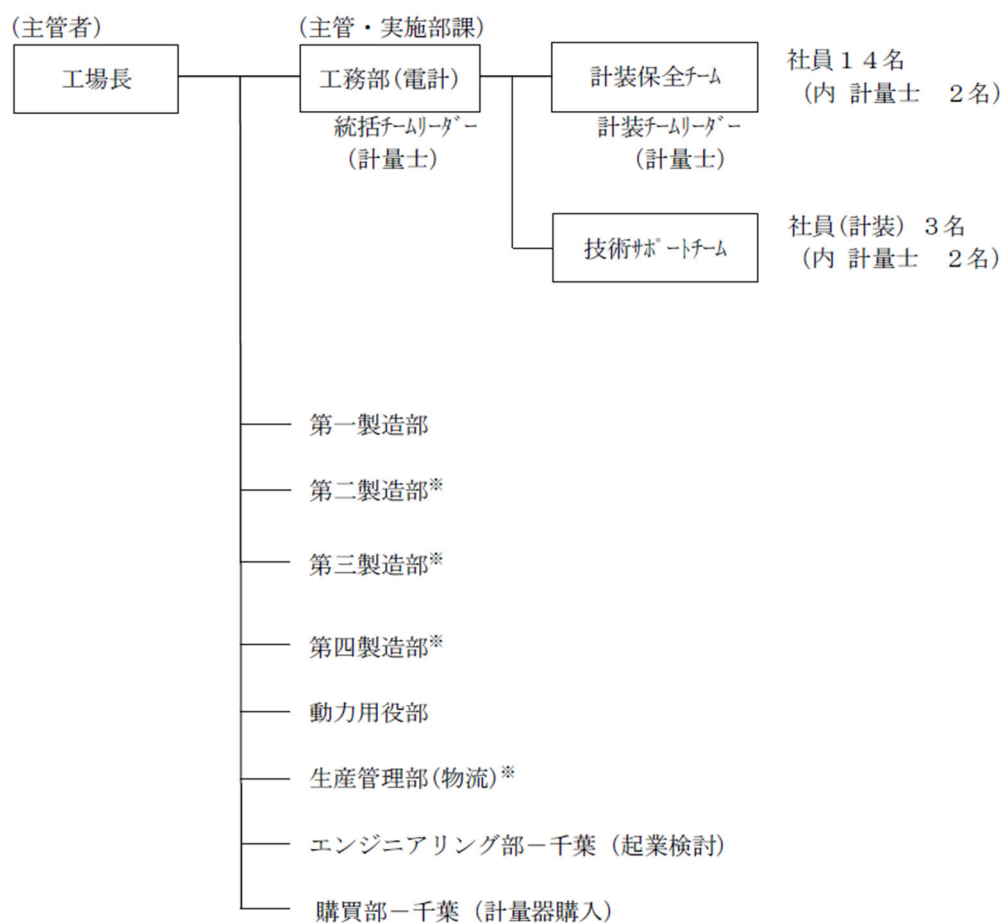
### (1) 一般計量（測）器

|     |        |
|-----|--------|
| 質量計 | 230台   |
| 温度計 | 1,580台 |
| 圧力計 | 3,380台 |
| 流量計 | 3,880台 |
| 液面計 | 2,850台 |

### (2) 分析計

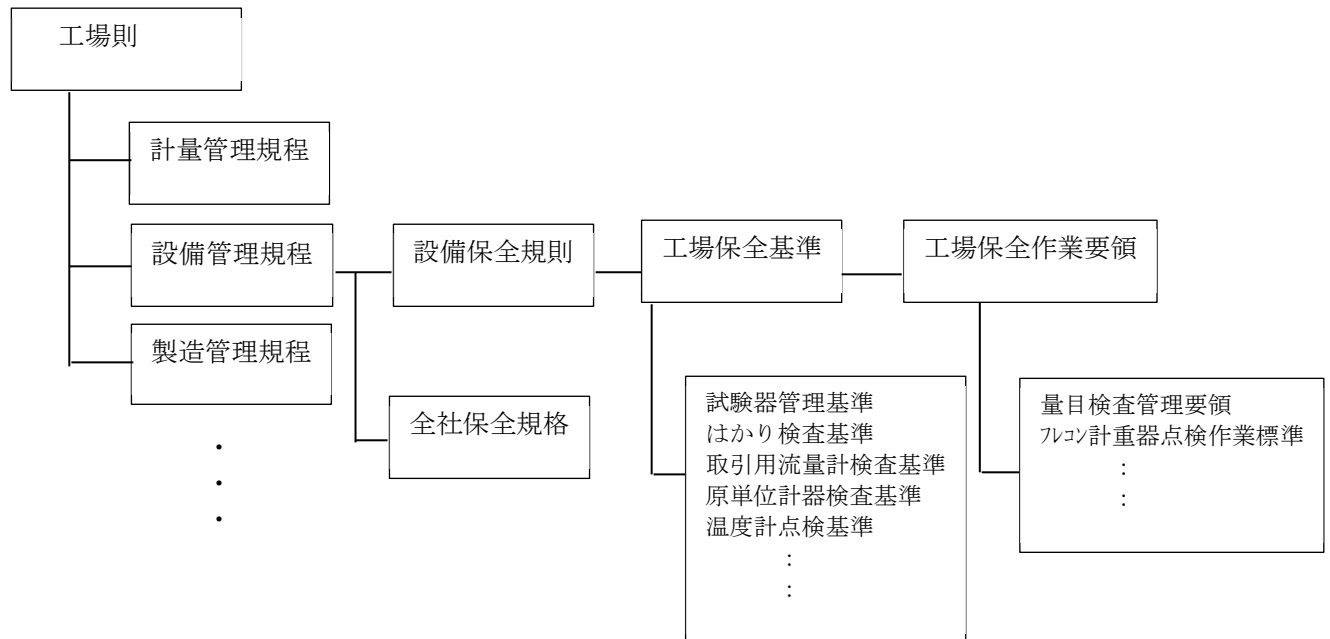
|        | 環境用 | 一般用  |
|--------|-----|------|
| 騒音計    | 2台  | 1台   |
| 振動レベル計 | 0台  | 170台 |
| PH計    | 0台  | 200台 |
| 大気濃度計  | 25台 | 30台  |

## 3. 計量管理実施の組織



上記※印のある製造部には、適正計量管理主任者を配置

## 4. 計量管理規定



## 5. 計量器の検査設備

### (1) 基準器

1 級基準分銅、2 級基準分銅、基準重錘型圧力計、  
基準液柱型圧力計

### (2) 標準機

検査用分銅、標準直流電圧電流発生器、  
デジタルマルチメータ、ダイヤル形抵抗器、  
標準抵抗器、機械式圧力計、標準デジタル温度計、  
測温抵抗体、ガラス製温度計、パルスチェッカー

### (3) 検査設備

温度計検査槽、温度計検査炉、製氷器、  
サーモキャリブレータ

## 6. 計量器および計装設備の管理状況

### (1) 検査

#### 受入検査

納入した計量器について、工務部が納入仕様書と見積仕様書との照合、試験成績書のデータ確認、および外観検査を行っています。但し、分析計などの特殊計器に限り、運転開始前に納入者による性能検査を行っています。

#### 定期検査

「計器点検計画基準」に基づき、工務部が機種毎に点検内容（精密点検、校正検査等）を定め、重要度と劣化度のマトリクス表から決定した周期に従い一部外注にて行っています。法令および I S O に該当するものは、前述とは別に定めたマニュアルに基づき行っています。

なお、定期検査に合格した計量器には合格証ラベルを貼り付け、検査状態の識別を行っています。

臨時検査

使用中の計量器に機能または精度に疑念が生じた場合は、その状況を確認した後、必要に応じて保全専門の協力会社（年間請負契約）またはメーカーサービスエンジニアによる臨時検査を行っています。

（２）保守、点検

実施部課（工務部）が保全計画と予算案を立案し、点検、保守を行っています。その方法は大きく分けて、運転中に装置を止めずに行う通常検査（OSI）と装置を停止して行う開放検査（SDM）があります。

装置を停止して行う検査（SDM）は「長期保全計画」に基づいて実施しており、その計画および実績は設備管理システム（SC-SEAM）により管理しています。

日常の稼働状況は製造課が管理しており、異常が認められた場合は設備管理システム（SC-SEAM）または電話連絡によりその内容が工務部に通知されます。工務部は製造課と点検の内容を協議・決定した後、その処理を行っています。

日常の点検、保守はゾーン毎に保全請負契約を締結した保全専門協力会社が行っていますが、保全専門協力会社で実施困難な点検、保守についてはメーカーサービスエンジニアが行っています。

## 7. 量目および品質の検査

（１）気体、液体原料量目検査

受け込みラインに流量計を設置し、全量を測定しています。流量計は基準に基づき定期的に器差試験を実施しています。

品質検査

基準に基づき全量または抜き取り検査を実施しています。

（２）気体、液体製品および固体製品量目検査

原料と同様に流量計や秤等の計量器を設置し、全量を測定しています。計量器は基準に基づき定期的に器差試験を実施しています。

品質検査

基準に基づき全量または抜き取りで検査を実施しています。

## 8. 計量管理に関する改善活

計量器の高経年化に伴い順次更新を実施しており、適正な管理精度の維持に努めています。

また、次年度の計量器の定期検査を計画する際、本年度の検査結果を検証し、交換部品の選定や検査周期の見直し作業を行っています。

## 9. ISO関連取得状況

ISO9001 :2015      1995 年 3 月 24 日に取得

ISO14001:2015      1997 年 6 月 26 日に取得

## 10. 教育・訓練

### 一般従業員

(社内教育)

計装技術教育 (5 回/年)

ISO、法令教育 (4 回/年)

安全衛生教育 (6 回/年)

全社集合教育 (計装エンジニアコース)

(社外教育)

各種展示会、講演会への参加

### 計量管理要員

(社内教育)

計量管理推進会議 (3 月)

社内メールによる関連情報の供与

(社外教育)

計量協会主催行事への参加

### 協力事業場

社員と協力会社合同の専門技術教育 (毎月)

毎朝夕の工事連絡会議における工事技術等の教育 (毎日)

保全会社の責任者に対する工事品質教育 (2 回/年)

以上、当工場における計量管理の概要を紹介させていただきました。今後も今回の受賞を励みに更なる計量管理活動の継続的改善に繋げていきたいと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

朝、通学バスを待つ人がいる。

10キロ先の学校へ歩きだす人がいる。

ネオンの輝く街で恋人を待つ人がいる。

ロウソクの灯りでラブレターをしたためる人がいる。

もしもエネルギーに顔があるなら、

すべての一人に、微笑みかけているだろうか。

もしもエネルギーに顔があるなら、

私たちはその顔でありたい。



人と人がつながるエネルギー。







サステナブルを、化学のPOWERで。





恵藤計器株式会社校正室は  
国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です  
JCSS 0314 は当社校正室の認定番号です



ETO scale works

# 恵藤計器株式会社

本社・工場 〒261-0002 千葉市美浜区新港142-3 電話 043(242)0505(代表) FAX 043(243)2519

産業用はかり・トラックスケール・商業用はかり・電子天びん・分銅  
質量計製造（経済産業大臣登録）・販売修理（知事登録）